

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成26年6月26日(2014.6.26)

【公表番号】特表2013-526940(P2013-526940A)

【公表日】平成25年6月27日(2013.6.27)

【年通号数】公開・登録公報2013-034

【出願番号】特願2013-511205(P2013-511205)

【国際特許分類】

A 6 1 B 18/12 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/39 3 1 0

【手続補正書】

【提出日】平成26年5月2日(2014.5.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遠位端を有する細長部材と、

前記細長部材の前記遠位端に結合された先端部であって、前記細長部材の一方側の先端点を含むベベル部分を備える先端部と、

少なくとも部分的には前記細長部材内の第 1 の位置と、少なくとも部分的には前記細長部材の外側である第 2 の位置であって、前記細長部材の前記一方側の第 2 の位置との間で移動可能である複数のフィラメントであって、前記複数のフィラメントおよび前記先端部はプローブから高周波エネルギーを伝達し単極電極として動作するように構成される、複数のフィラメントと、

を備えることを特徴とする、ニードル。

【請求項 2】

前記ベベル部分は、約 20° から約 30° までの範囲内のベベル角度を有することを特徴とする、請求項 1 に記載のニードル。

【請求項 3】

前記複数のフィラメントのそれぞれは、前記先端部から見て外を向くベベルを備える遠位端を有することを特徴とする、請求項 1 または 2 に記載のニードル。

【請求項 4】

前記複数のフィラメントの前記ベベルは、約 25° から約 35° までの範囲内の角度であることを特徴とする、請求項 3 に記載のニードル。

【請求項 5】

単一のワイヤが、前記複数のフィラメントを含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項に記載のニードル。

【請求項 6】

少なくとも部分的に前記先端点を覆う絶縁コーティングをさらに含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項に記載のニードル。

【請求項 7】

前記先端部は、少なくとも部分的に前記細長部材内にステムを含み、前記ステムは第 1 のフィラメントルーメンと第 2 のフィラメントルーメンとを含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項に記載のニードル。

【請求項 8】

前記ステムは、第 3 のルーメンを備え、前記ベベル部分は、前記第 3 のルーメンと連通する流体ポートを備えることを特徴とする、請求項 7 に記載のニードル。

【請求項 9】

前記細長部材は、近位端を有し、前記ニードルは、前記細長部材の前記近位端に結合された回転展開機構をさらに含み、前記回転展開機構は前記先端部に関して前記複数のフィラメントの部分的展開を示す印を含むことを特徴とする、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のニードル。

【請求項 10】

前記印は、聴覚的および触覚的戻り止めのうちの少なくとも 1 つを備えることを特徴とする、請求項 9 に記載のニードル。

【請求項 11】

前記細長部材は、近位端を有し、前記ニードルは、前記細長部材の前記近位端に結合されたフィラメント展開機構をさらに含み、前記フィラメント展開機構は、

前記複数のフィラメントに結合されたステムを備える前進ハブと、

螺旋状のトラックを備えるスピncカラーであって、前記前進ハブの前記ステムが少なくとも部分的に前記スピncカラーの内側にある、スピncカラーと、

前記螺旋状のトラックと連携するように構成された螺旋状のねじ山を備えるステムを含むメインハブであって、前記メインハブの前記ステムが少なくとも部分的に前記スピncカラーの内側にあり、前記前進ハブの前記ステムが少なくとも部分的に前記メインハブの内側にある、メインハブとを備え、

前記フィラメントは、前記スピncカラーの回転後に、前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間で移動するように構成されることを特徴とする、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項に記載のニードル。

【請求項 12】

単一のワイヤが、前記複数のフィラメントを含み、前記ワイヤの近位端は、前記前進ハブの前記ステムに結合されることを特徴とする、請求項 11 に記載のニードル。

【請求項 13】

前記螺旋状のトラックおよび前記螺旋状のねじ山のうちの少なくとも一方は、前記複数のフィラメントの部分的展開または引き込みを示すように構成された複数の戻り止めを備えることを特徴とする、請求項 11 または 12 に記載のニードル。

【請求項 14】

前記第 1 の位置は、完全に引っ込められた位置であり、前記第 2 の位置は、完全に展開された位置であり、前記戻り止めは、前記フィラメントが前記第 1 の位置と前記第 2 の位置との間の第 3 の位置、前記第 3 の位置と前記第 2 の位置との間の第 4 の位置、および前記第 4 の位置と前記第 2 の位置との間の第 5 の位置にあるときに、使用者に聴覚的または触覚的フィードバックを送るように構成されていることを特徴とする、請求項 13 に記載のニードル。

【請求項 15】

前記複数のフィラメントは、前記第 3 の位置の前記先端点の近位にあり、前記複数のフィラメントは、前記第 4 の位置の前記先端点に実質的に縦方向に揃えられ、前記複数のフィラメントは、前記第 5 の位置の前記先端点の遠位にあることを特徴とする、請求項 14 に記載のニードル。